

青垣



会長挨拶

春日大社 権禰宜
越智 康介

先ず以て、令和二年十一月には立皇嗣の礼も恙なく執り行われ、皇室の弥栄をお慶び申しあげます。

日頃より会員各位はもとより奈良県神社庁様をはじめ先輩諸賢におかれましては格別なるお力添えを賜り厚く御礼申しあげます。

さて、本年度はコロナウイルス感染症拡大の影響を受け、多くの事業の見直し、休止を余儀なくされました。予定していた大きな事業と致しましては、石上神宮様にお世話になります禊・鎮魂錬成研修会、会員や氏子崇敬者と結団し、参内致しますの皇居勤労奉仕青垣奉仕団がございしますが、参加者の健康を第一に考え、休止の判断をさせていただきます。

第 57 号

令和三年二月一日発行

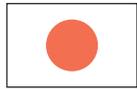
奈良県橿原市久米町九三四

奈良県神社庁内

発行所 奈良県神道青年会

電話〇七四四一三三四七三

編集者 広報部



祝祭日には
国旗を
揚げましょう

その他の事業についても、諸先輩方が繋いでこられました大切なものであることから、理事役員からは様々な意見がございましたが、本年度は苦渋の決断で、休止とさせていただきます。

また、定例総会、臨時総会におきましても、書面総会、リモート総会として開催いたしました。

しかしながら、コロナ禍の中にあっても、我々は誰一人として活動の歩みを止める事は望んでおりません。この先「新しい生活様式」の下でも歩みを進め、一人一人の日々の祈りが御神慮に叶い、混迷する事態がいち早く収束致しますことを願っております。

新型コロナウイルス感染症に罹患された方々にお見舞い申し上げますと共に、衷心より亡くなった方々のご冥福をお祈りいたします。任期わずかととなりますが、少しでも次世代の負担が軽減出来るよう尽力して参りますので、最後まで変わらぬご支援宜しくお願い致します。

奈良県神道青年会ホームページのご紹介



当会の活動や会報「青垣」のバックナンバーもご覧いただけます。是非ご覧くださいませ。 <http://www.narashinsei.com/>

人も、人の行ふべきかぎりをば、
行ふが人の道にして、そのうへに、
其事の成と成ざるとは、人の力に
及ばざるところぞ
本居宣長

令和二年度

定例総会

令和二年度定例総会は緊急事態宣言発令中であつたため、通常での開催を断念し、四月三十日必着の書面決議という方法を用いて行った。

議事としては令和元年度活動報告、同会計決算報告、令和二年度活動計画案、令和二年度会計予算案があり、回答票の結果、すべての議案について過半数の賛成をもって可決された。これまでは対面のみで総会が常であつたが、書面決議という方法も資料として今後に残せるよう精査したい。(事務局 樋口)

熊本豪雨災害
物資支援

本年七月、熊本県を中心に発生した豪雨災害により、お亡くなりになられた方々へのご冥福をお祈り申し上げると共に、被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。この度の災害にあたり当会からは、高圧洗浄機五台を贈らせていただきました。
一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

8/15

護国神社奉仕

去る令和二年八月十五日、英霊にこたえる会奈良県本部主催の戦歿者追悼式が奈良県護国神社に於いて行われました。当会からは西田副会長を始め会員六名が、祭員・伶人として御奉仕させていただきました。例年、国会議員や県会議員の方々を始め、県内外から御遺族の方々約四百名が参列されていますが、本年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小され、各団体代表者五十名程度が参列し齋行されました。規模縮小により例年行われていた献楽の儀(大正琴の演奏に合わせ『同期の桜』『ふるさと』の参列者一同による奉唱)がなく寂しい思いもありましたが、英霊の御心をお慰め申し上げるべく境内には雅楽の旋律が響いていました。



今回の祭典奉仕を通じ、今後変わることなく青年神職として英霊顕彰事業を継続して行い、次世代へ繋いでいくことの大切さを身に染みて感じました。

最後に終戦から七十五年を迎えるに当たり、尊い命を捧げられた御英霊に感謝の誠を捧げたい。(大神 藤林)

10/30

『教育二関スル勅語』奉読

去る令和二年十月三十日に春日大社直会殿において、越智会長以下会員十名参集のもと、『教育二関スル勅語』(以下、教育勅語)奉読が行われました。

教育勅語は明治二十三年二月に開催された地方官会議において「知育ノ一方ノミ進ミテ德育ノ兼ネ進マザル」ことを憂える知事達より德育方針の確立について建議が内閣に対してなされたことを契機に、明治天皇の命により編纂されました。そして、令和二年は明治二十三年十月三十日に教育勅語が渙発されてより百三十年の佳節にあたります。

本事業は新型コロナウイルス感染症拡大により、奈良県神道青年会としての活動が制限される中、理事役員会で意見を出し合い、開催することとなりました。当日はWEB会議ツールZOOMを利用することで、参集が叶わない会員の参加も募りました。先ず、災害復興祈願祭・疫病退散祈願祭が齋行され、越智会長が近年発生した多くの災害で被災した地域の早期復興と新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を祈念する祝詞を奏上。次いで参加者全員で君が代を斉唱し、拝礼。その後、会員一同心をつにして教育勅語を奉読しました。

私は本事業が始まる前に教育勅語を読み直しましたが、改めて今の世の中に大切なことが示されていると感じました。冒頭には皇室の先祖(神武天皇)が建国した時より、同義

道徳を大切にしてきたことや今日まで全国民が、国家と家庭の為に心を合わせて力を尽くしてきたことは日本の優れた国柄であること、を述べられ、続いて家族や友人に対しての思いやり、公益を大切に、規則を守ることなど十二の徳目を示されています。地球規模で新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう現状において、教育勅語はまさに「之ヲ古今ニ通シテ謬ラス中外ニ施シテ悖ラス」普遍的な教えであると感じます。

令和二年十一月現在、新型コロナウイルス感染症拡大第三波に関してのニュースが流れています。明治天皇が示された徳目を改めて読み直すことで、神社に訪れる多くの方々が無事安心にお参りできるよう努めていきたいと思っております。

(檀原 伊藤)



11/16

臨時総会

去る十一月十六日、令和二年度臨時総会が十八名の出席のもと「ZOOM」を用いてリモート開催された。

越智康介会長の開会の挨拶に続き、議事では議長に井関亮輔理事が選出され、次期会長並びに監事の選出が審議された。慎重審議の結果、次期会長には大神神社の久保田昌伯君、次期監事には御霊神社の神田憲明君、石上神宮の井上大資君がそれぞれ選出され、全会一致により承認された。

議事終了後には、久保田次期会長より、令和三年・四年度への活動への想いを込めた挨拶があり、井上次期監事による閉会の辞をもって令和二年度臨時総会は執り納めとなった。



良旅。そして、これから」と題し、岡下浩二先生（やまとびと株式会社、やまとびとツアーズ、旅行部門責任者、カメラマン）をお迎えして勉強会を開催した。今回の勉強会は、WEBセミナーという手法を取り入れることで、移動時間・会場準備・会場費のコストが不要であり、より多くの会員が参加できるツールとして今後も活用できるよう実験的に開催された。

講演ではコロナ禍の県内観光業の現状から、オンラインでの新しい観光への取り組みをお話しいただいた。オンラインツアーのメリットとしては、①普段は案内できない危険が伴うような場所や公開されていない所をリモートだからこそ紹介できる。②場所から場所の移動が無いので広範囲なツアーが企画できる。③チャット等で質問にも随時答えることができる。④解説者の説明を事前収録できる。⑤参加者も興味があることを詳細に知れる。など、オンラインならではの様々な工夫がされていた。移動による時間と費用がかからないことで、参加者も国内外と多様な選択肢を持つことのできた。コロナ禍において、火急の対応を迫られたなかでのチャレンジからはじまったオンラインツアーであるが、詳細な解説と疑似体験を求めて多くの申し込みがあり、今後も発展していく可能性を感じることだった。

「古都奈良」という日本人のルーツと、それを継承する社寺の伝統と文化が、観光者にとって伝わるのが理想なのか、現場で活躍される岡下先生の講演により、現状を知り考える機会となった。

(事務局 樋口)

次期会長挨拶

大神神社 権禰宜 久保田 昌伯



先の臨時総会におきまして図らずも奈良県神道青年会次期会長として選出いただきました大神神社 権禰宜久保田昌伯です。

私自身神道青年会の理事役員として活動に関わらせていただくようになり大凡四年程ありますが、今回選出いただき身の引き締まる思いでございます。一生懸命務めさせていただきます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の感染が確認されてより地域関係なく瞬く間に広がり、感染防止の観点から青年会で予定していた恒例の事業がほぼ中止を余儀なくされました。

これまで参会して開催していた毎月の会議がリモート中心となり、理事役員であっても直接会って話をする機会は数えるほどでした。

世界の一部の国でコロナウイルスワクチンの接種が始まりましたが、今もなお日本においても収束の見えない日々が続いております。

越智会長よりバトンを受け取るその日までコロナ禍の状況を注視しつつ皆で情報を共有し、この一年間の経験を次期へとつないでゆき生かしてゆきたいと思えます。ただ、今後このような状況が続く現状維持だけではやがて青年会活動に対する思いも各々薄れてゆくことも危惧しつつ、事業をどのような形であれば開催できるのかを考え、一歩ずつでも歩みを止めることなく活動を進めて参りたいと思えます。

皆様には御指導御鞭撻の程宜しくお願いいたします。

次期監事挨拶

御霊神社 宮司 神田 憲明



先の定例総会におきまして、引続き令和三・四年度の監事を仰せつかりました御霊神社の神田です。

令和二年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、皇居勤勞奉仕「青垣奉仕団」をはじめ、予定してありましたさまざまな活動が中止、あるいは規模を縮小・制限をかけて行うこととなりました。多くの会員が同じ場所に集っての活動は叶いませんでしたが、限られた状況下であっても「ZOOM」を活用するなど、新たな活動の形で出来ることを模索し続けた年でもありました。

来る令和三・四年度は久保田新会長のもと、令和二年の分を取り返す意気込みで、甚だ力不足ではありますが精一杯尽力してまいる所存です。何卒皆様には尚一層のご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

次期監事挨拶

石上神宮 権禰宜 井上 大資



次期監事を仰せつかりました井上大資と申します。私は二十八歳の時に神職資格を得て神明奉仕の道に入ったもので、それ以前はひたすらに陸上競技に打ち込んでおりました。集団の力というものをリレーで例えると、スーパースターが一人で後の三人は一般人のリレーチームと、そこそ

こ走れる四人のチームとは後者のほうが競技力は上です。これは人体の動きでも同じことが言えて、足だけ腕だけで走るのでは動きは力み、遂には故障してしましますが、身体全体が調和し合って各部位が少しずつ力を出して「走る」という動きをする時には伸びやかで力みなく、力の溢れ出す動きが生まれます。良い集団というのも特出した誰かが一人だけで頑張っているのではなく、皆が同じ方向を見て少しずつ力を出し合っているものではないでしょうか。我々奈良県神道青年会も斯くの如くに皆が力を出し合い、このコロナ禍の中であっても意義ある活動ができます事を切に願います。

奈良県神道青年会 活動報告及び計画

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

月	日	内 容	場 所
4月	11日	会計監査	龍田大社・談山神社
	16日	令和元年・2年度第11回理事役員会	電話会議
	23日	神道青年近畿地区連絡協議会第11回事業委員会	電話会議
	30日	令和2年度定例総会	書面決議
5月	8日	神道青年近畿地区連絡協議会第5回役員会	WEB会議
	12日	神道青年近畿地区連絡協議会第12回事業委員会	電話会議
	20日	令和元年・2年度第12回理事役員会	電話会議
	29日	神道青年近畿地区連絡協議会第13回事業委員会	藤森神社
6月	1日	神道青年近畿地区連絡協議会第14回事業委員会	電話会議
	11日	神道青年近畿地区連絡協議会第6回役員会	WEB会議
	同日	神道青年近畿地区連絡協議会令和2年度定例総会 神道青年近畿地区連絡協議会野球大会(中止)	書面決議
	20日	神道青年近畿地区連絡協議会第15回事業委員会	電話会議
7月	7日	令和2年度7月熊本県豪雨支援物資事業	熊本県
	15日	神宮大麻頒布推進委員会	奈良県神社庁
	20日	神道青年近畿地区連絡協議会第16回事業委員会	電話会議
	26日	神道青年近畿地区連絡協議会第17回事業委員会	電話会議
	29日	令和元年・2年度第13回理事役員会	WEB会議
8月	4日	神道青年近畿地区連絡協議会第1回役員会	WEB会議
	15日	英霊にこたえる会奈良県本部奈良県出身戦歿者追悼式助勤奉仕	奈良県護国神社
	18日	神道青年近畿地区連絡協議会第18回事業委員会	電話会議
	26日	令和元年・2年度第14回理事役員会	WEB会議
	27日	神道青年全国協議会常任委員会	WEB
	同日	神道青年全国協議会主催夏期勉強会	WEB
9月	3日	神道青年近畿地区連絡協議会第2回役員会	WEB会議
	同日	神道青年近畿地区連絡協議会第1回連絡会	WEB会議
	19日	神道青年近畿地区連絡協議会第19回事業委員会	立木神社参集殿
	22日	令和元年・2年度第15回理事役員会	WEB会議
10月	5日	神道青年近畿地区連絡協議会執行部会	WEB会議
	15日	令和元年・2年度第16回理事役員会	WEB会議
	21日	第26回全国戦歿学徒追悼祭奉仕・参列	全国戦没学徒記念「若人の広場公園」
	22日	奈良県護国神社秋季大祭助勤奉仕	奈良県護国神社
	30日	渙発130年教育勅語奉読式 WEB会議	春日大社
11月	16日	令和元年・2年度第17回理事役員会	WEB会議
	同日	令和2年度臨時総会	WEB会議
	同日	勉強会	WEB
	同日	意見交換会	WEB
12月	9日	神道青年近畿地区連絡協議会第3回役員会	WEB会議
	同日	神道青年近畿地区連絡協議会臨時総会並第2回連絡会	WEB会議
令和3年			
1月	27日	国旗掲揚推進1・27御堂筋パレード(中止)	
2月	1日	会報「青垣」第57号刊行	
		奈良県神社庁神宮大麻頒布推進委員会	
3月		奈良県神社庁神宮大麻頒布終了祭参列	奈良県神社庁
		奈良県神社庁神職・氏子合同研修会助勢	
		神道青年近畿地区連絡協議会第4回役員会・第3回連絡会・地区研修会	和歌山県
姉妹神青交流事業			
理事役員会			
皇居勤労奉仕「青垣奉仕団」推進委員会			
神道青年全国協議会事業			
神道青年近畿地区連絡協議会事業			
神道青年近畿地区連絡協議会事業委員会			
勉強会			

奈良県神道青年会 令和元年度一般会計決算書

歳入の部

(自平成31年4月1日 至令和2年3月31日) 単位:円

科 目	予算額	決算額	比較増減	備 考
年 会 費	370,000	325,000	△ 45,000	会員年会費 1名5,000円 賛助会員年会費 1名5,000円
助 成 金	610,000	610,000	0	神社庁 150,000円 大神神社 100,000円 春日大社 100,000円 橿原神宮 100,000円 神社庁各支部 130,000円 葛木坐火雷神社 10,000円 近畿地区助成金(禊鎮魂鍊成研修会) 20,000円
事 業 収 入	170,000	175,000	5,000	鎮守の杜頒布
雑 収 入	29,009	15,005	△ 14,004	祝金 預金利息等
前年度繰越	670,991	670,991	0	
歳入合計	1,850,000	1,795,996	△ 54,004	

歳出の部

科 目	予算額	決算額	比較増減	備 考
神 事 費	30,000	30,000	0	定例総会 禊鎮魂鍊成研修会玉串料
会 議 費	10,000	0	△ 10,000	湯茶 菓子代
事 務 費	30,000	65,681	35,681	郵送料他 事務局担当神社へ
会 員 派 遣 費	600,000	161,988	△ 438,012	神青協諸行事・近畿地区諸行事
負 担 金	210,500	238,000	27,500	神青協醸出金 82,500円 近畿地区負担金 125,000円 年賀広告費 3,000円 神青協周年負担金 27,500円
宣 布 費	60,000	31,896	△ 28,104	ホームページ年間維持費
事 業 費	585,000	475,470	△ 109,530	青垣発行 勉強会 鎮守の杜購入他
特 別 事 業 費	75,000	75,000	0	皇居勤労奉仕「青垣奉仕団」助成
雑 費	34,000	2,880	△ 31,120	慶弔費・振込手数料他
予 備 費	215,500	0	△ 215,500	
歳出合計	1,850,000	1,080,915	△ 769,085	

(歳入合計)1,795,996円-(歳出合計)1,080,915円=715,081円(次年度へ繰越)

奈良県神道青年会 令和元年度特別会計決算書

収入の部

支出の部

(自平成31年4月1日 至令和2年3月31日) 単位:円

科 目	決算額	備 考	科 目	決算額	備 考
前年度繰越金	4,582,985	平成30年度より	事業品調製費	97,200	大和茶
事 業 収 入	112,500		振込手数料	542	
雑 収 入	38	預金利息			
合 計	4,695,523		合 計	97,742	

(収入合計)4,695,523円-(支出合計)97,742円=4,597,781円(次年度へ繰越)

奈良県神道青年会 令和元年度逆境にある人々応援基金決算書

収入の部 支出の部 (自平成31年4月1日 至令和2年3月31日) 単位:円

科 目	決算額	備 考	科 目	決算額	備 考
前年度繰越金	536,775	平成30年度より	逆境応援基金	30,000	豪雨被害者支援金
雑 収 入	9,697	利息	振込手数料		
合 計	546,472		合 計	30,000	

(収入合計)546,472円-(支出合計)30,000円=516,472円(次年度へ繰越)

奈良県神道青年会 令和元年度「かたりべまほろぼ」活動基金決算書

収入の部 支出の部 (自平成31年4月1日 至令和2年3月31日) 単位:円

科 目	決算額	備 考	科 目	決算額	備 考
前年度繰越金	607,365	平成30年度より	活 動 費	26,000	出向費 1公演1人 1,000円
活動協力金	40,000				
雑 収 入	4	預金利息			
合 計	647,369		合 計	26,000	

(収入合計)647,369円-(支出合計)26,000円=621,369円(次年度へ繰越)

奈良県神道青年会 令和2年度一般会計予算書

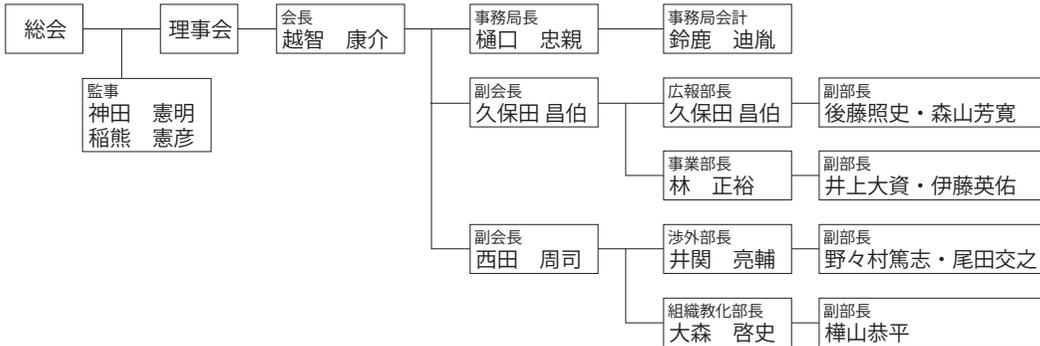
歳入の部 (自令和2年4月1日 至令和3年3月31日) 単位:円

科 目	前年度予算額	今年度予算額	比較増減	備 考
年 会 費	370,000	360,000	△ 10,000	会員年会費 1名5,000円 賛助会員年会費 1名5,000円
助 成 金	610,000	610,000	0	神社庁 150,000円 大神神社 100,000円 春日大社 100,000円 橿原神宮 100,000円 神社庁各支部 130,000円 葛木坐火雷神社 10,000円 近畿地区助成金(禊鎮魂鍊成研修会) 20,000円
事 業 収 入	170,000	175,000	5,000	鎮守の杜頒布
雑 収 入	29,009	39,919	10,910	祝金 神社新報通信費 預金利息等
前年度繰越	670,991	715,081	44,090	
歳入合計	1,850,000	1,900,000	50,000	

歳出の部

科 目	前年度予算額	今年度予算額	比較増減	備 考
神 事 費	30,000	40,000	10,000	定例総会 禊鎮魂鍊成研修会 臨時総会玉串料
会 議 費	10,000	10,000	0	湯茶 菓子代
事 務 費	30,000	60,000	30,000	郵送料他 事務局(諸社)
会 員 派 遣 費	600,000	600,000	0	神青協諸行事・近畿地区諸行事
負 担 金	210,500	210,500	0	神青協醸出金 82,500円 近畿地区負担金 125,000円 神青協年賀広告費 3,000円
宣 布 費	60,000	60,000	0	ホームページ年間維持費
事 業 費	585,000	550,000	△ 35,000	青垣発行 鎮守の杜購入 勉強会
特 別 事 業 費	75,000	75,000	0	皇居勤労奉仕「青垣奉仕団」助成
雑 費	34,000	34,000	0	慶弔費 振込手数料他
予 備 費	215,500	260,500	45,000	
歳出合計	1,850,000	1,900,000	50,000	

令和元年・令和2年度 奈良県神道青年会 組織図



役職	氏名	奉務神社
会長	越智 康介	春日大社
副会長	久保田昌伯	大神神社
副会長	西田 周司	檀原神宮
事務局長	樋口 忠親	廣瀬神社
理事	井関 亮輔	春日大社
理事	森山 芳寛	春日大社
理事	大森 啓史	往馬坐伊古麻都比古神社
理事	井上 大資	石上神宮
理事	野々村篤志	大神神社
理事	後藤 昭史	大神神社
理事	尾田 交之	等彌神社
理事	樺山 恭平	檀原神宮
理事	伊藤 英佑	檀原神宮
理事	林 正裕	荒神社
監事	稲熊 憲彦	龍田大社
監事	神田 憲明	御霊神社

奈良県神道青年会 理事役員



檀原神宮
杉正彌
かむすぎ まさや
①平成十年二月十五日
②習慣は第二の天性なり
③映画鑑賞・ドライブ
④映画鑑賞・ドライブ
⑤宜しくお願致します



春日大社
佐野弘之
さの ひろゆき
①平成九年六月二十七日
②一期一会
③サイクリング
④読書
⑤よろしくお願致します



石上神宮
谷野智重
たの ともしげ
①平成九年三月二十三日
②為せば成る
③自転車
④茶道
⑤よろしくお願致します



大神神社
栗田一宏
くり た かずひろ
①平成十年二月十一日
②人生に失敗は無く
経験があるのみ。
③サバイバルゲーム
④書店巡り
⑤よろしくお願致します



大神神社
宮村匠
みやむら たくみ
①平成九年十月二十五日
②雨垂れ石を穿つ
③キャンプ、ドライブ
④ドライブ、旅行
⑤よろしくお願
いたします

令和二年度 **新入会員紹介**

①生年月日 ②座右の銘 ③趣味
④休日の過ごし方 ⑤ひとこと

編集後記

本年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、当たり前前かが当たり前ではなくなった一年でした。その中で行った数少ない活動を通して、出来ることの有り難さを感じる一年でもありました。我々、奈良県神道青年会は活動が出来ることへの感謝を忘れず、今後も益々実りある活動が出来るよう努力してまいります。会員の皆様の更なるご協力を宜しくお願いたします。(広報部)